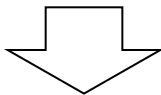


# 『みやぎ産業人材育成プラットフォーム』のイメージ

- 地域経済を担う次世代育成という地域の産業振興の戦略課題を産学官の各機関・団体によって共通認識する場
- 参加団体・企業がそれぞれどのように産業人材育成に関与していくかを表明・共有していく場
- 産業人材育成に必要なさまざまなプログラムやプロジェクトの企画立案・実施にむけた調整の場  
(国関連の各種競争資金の積極的な活用により、人材育成事業の各種モデル構築)

## 産業人材育成プラットフォームの位置づけ

産学官連携ラウンドテーブル H19.1月 (宮城県・仙台市・東北経済連合会・東北大学)  
→ 地域を挙げた“戦略的な産業人材育成体制の整備”で合意



産学官の連携を中核に産業・教育関係者へ参画呼びかけ

## みやぎ産業人材育成プラットフォーム H19.6月設置 協議・調整する場

- 構成機関 23団体 宮城県・仙台市・教育委員会・東北経済連合会・経営者協会・商工会議所・商工会・工業会・中小企業団体中央会・東北大学・仙台高専・KCみやぎ推進ネットワーク参加機関・職業能力開発協会・雇用能力開発機構・宮城労働局・東北経済産業局 など  
※実務者による担当者会議を中心にネットワークを活かした活動を展開

### プラットフォームの機能—参加団体の持つ経営資源を活用した事業の推進・連携実施

- イノベーションを支える高度人材・起業家育成
- キャリア教育の推進支援
- 大学、高校におけるインターンシップの拡充
- 創造性・課題解決能力向上のためのプログラム・実践機会の提供

### ■ 構成機関との連携実施

#### ① 人材育成資源の棚卸しと最適化

実態調査(人材育成メニュー、企業・学校ニーズ)

#### ③ 産業人材育成プログラムの企画・実施支援

人材育成プログラムの企画実証・プロジェクトメイク

#### ② 産業人材育成コーディネーターの養成

企業と学校・人材開発機関との橋渡し役の養成研修

#### ④ 産業人材育成フォーラム

地域を挙げた産業人材育成の機運醸成

宮城県の役割……事務局機能・人材育成に活用できる経営資源の基礎調査等

## 設置の効果—宮城県の産業を担う産業人材の体系的な育成体制の実現

人材育成のステージ		産業人材育成に向けた取組例
小中学生	しっかりとした勤労意識 ・職業観・社会関係性の醸成	職場体験の協力先の拡大 ものづくり体験のプログラム開発・提供 経済団体によるキッズマートの企画実施
高校生	スペシャリスト(専門高校)の育成 詳細な職業観の醸成	インターンシップの質・量の充実 課題解決型学習プログラムの提供 多様な職業を知る機会・イベントの実施
高専生 ・高技専生	ものづくり系の技術開発人材 ・現場マネジメント人材の育成	長期インターンシップの普及・一般化 ビジネススクールの設置
大学生	技術・経営人材 ・研究開発人材の育成	
企業人材	企業ニーズに対応した能力向上 起業家・社内起業家育成	大学・高専への派遣 各種研修機会の創出
経営者	マネジメントの質の向上	経営者塾の実施

協議会参画の各団体・機関の連携による体系的な人材育成メニューの整備

※既存のメニューの整理と今後必要な人材育成事業の拡充